

# ステレオ イヤーレシーバー

MDR-EX36SC

©2009 Sony Corporation Printed in Thailand

**安全のために**

- ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
  - 安全のために注意事項を守る。
  - 故障したら使わない。
  - 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

**交通安全のために****運転中は使用しない**

自動車やバイク、自転車などの運転中はイヤーレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

**内部に水や異物を入れない**

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**取扱説明書**

お買い上げいただきありがとうございます。  
【警告】電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

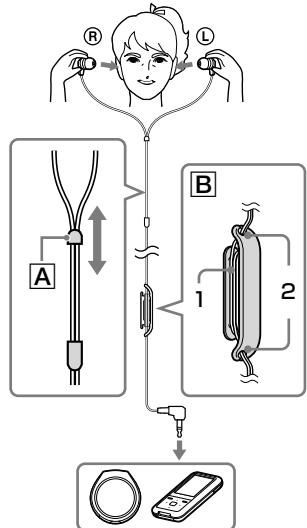
**主な特長**

- ・ポータブルオーディオプレーヤーを接続しスピーカーとして使えるキャリングケースを付属。外出先などで気軽にスピーカーから音楽をお楽しみいただけます
- ・イヤーレシーバーには密閉度が高く、長時間使用でも快適で安定した装着性を実現した、ハイブリッドイヤーピースを採用（S, M, L サイズ付属）
- ・イヤーレシーバーのコードの長さを調節できるアジャスター付属

**イヤーレシーバーの使いかた**

①の印のついたほうを右耳に、②の印のついたほうを左耳に付けてください。

ステレオミニプラグ対応の機器に接続できます。

**コードスライダーの使いかた（図A参照）**

コードスライダーを上下に動かして、コードの分岐を調節することができます。

**コード長アジャスター（付属）の使いかた（図B参照）**

図のようにコードを巻きつけて長さを調節できます。

（巻きつける長さは 50 cm までを安全に調節してください。それ以上巻きつけるとコードがはずれやすくなります。）

**1 コードを巻きつける。****2 みぞに差し込んで固定する。****ご注意**

- ・プラグやコード分岐部分を巻きつけないようにしてください。負担がかかりやすく断線につながる恐れがあります。
- ・コード長アジャスターはスピーカー付きキャリングケースに収納できません。

**イヤーピースの正しい装着方法**

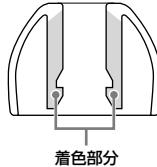
イヤーピースが耳にフィットしないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着されるようにしてください。

お買い上げ時には、M サイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属の L サイズや S サイズに交換してください。付属以外にも S サイズよりも小さい SS サイズを別売しています。

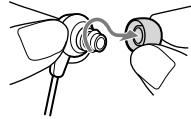
イヤーピースがはずれて耳に残らぬよう、イヤーピースを交換する際には、イヤーレシーバーにしっかりと取り付けてください。

**イヤーピースのサイズ（内側の色）**

小さい	大きい
SS (別売) (赤)	S (橙) M (緑) L (水色)

**断面図****イヤーピースをはずすときは**

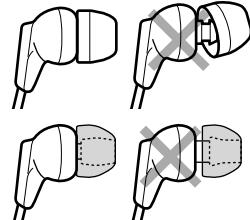
イヤーレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手でイヤーピースを軸ごとねじりながらはずします。

**♪ ヒント**

イヤーピースが滑りやすくてはすしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

**イヤーピースをつけるときは**

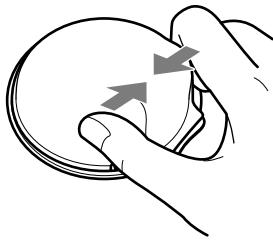
イヤーレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分を押し込んでください。



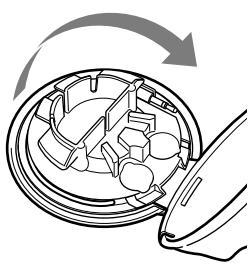
# スピーカー付きキャリングケースの使いかた

## 開きかた

- 1 背面カバーを図のようにつまむ。

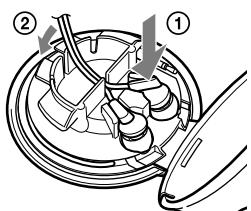


- 2 背面カバーを開く。

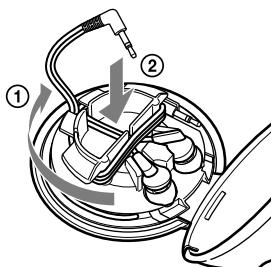


## イヤーレシーバーを収納する

- 1 イヤーレシーバーの①と②を確認して、イヤーレシーバーをくぼみに入れる。

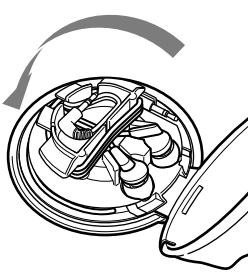


- 2 コードを図のように巻き、金メッキL型ミニプラグを中央のくぼみに入れる。

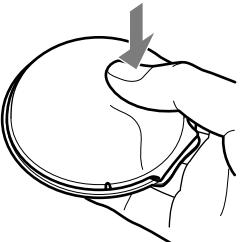


## 閉じかた

- 1 背面カバーをスピーカー部と合わせる。

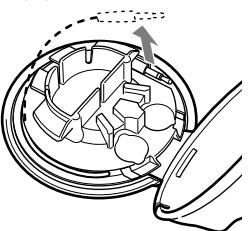


- 2 背面カバーを押して閉じる。

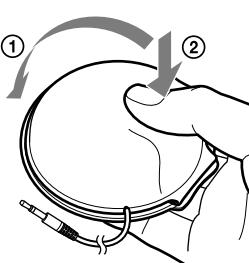


## 接続する

- 1 ステレオミニプラグとコードをはずす。

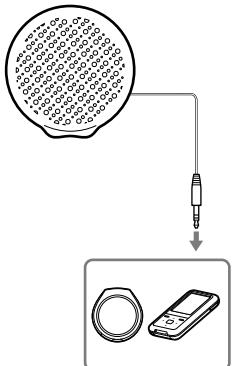


- 2 背面カバーの切込みからコードが出るように背面カバーを閉じる。



- 3 スピーカー付きキャリングケースを接続する。

音量は接続した機器のボリュームで調整してください。



## ご注意

接続する機器によっては、ボリュームを最大にしても音が小さく聞こえる場合があります。

## 取り扱い上のご注意

- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただきために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。

- イヤーピースのお手入れは、イヤーレシーバーからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- イヤーピースは消耗品です。破損したら交換してください。
- スピーカー付きキャリングケースは次のような場所には置かないでください。  
—直射日光の当たる場所や熱器具の近くなど、温度の高い所  
—湿気やほこりのある所  
—振動のある所

- TV、時計、クレジットカードなど磁気の影響を受ける物はスピーカー付きキャリングケースの近くに置かないでください。
- スピーカー付きキャリングケースを清掃する際、シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

イヤーピースを交換する場合は、別売のEP-EX10シリーズ（S, S, M, L）の各サイズをお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

## 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがあります。イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことでより軽減されます。

## 主な仕様

イヤーレシーバー部 (MDR-EX35LP)  
形式：密閉ダイナミック型  
ドライバユニット：  
9 mm、ドーム型 (CCAW採用)  
最大入力：100 mW (IEC\*)  
インピーダンス：  
16 Ω (1 kHzにて)  
音圧感度：100 dB/mW  
再生周波数域：  
6 ~ 23000 Hz  
コード：1.2 m リップツ線 Y型コード  
プラグ：金メッキステレオミニプラグ  
質量：約 3 g (コード含まず)

### スピーカー部 (DRC-SC1)

型式：密閉型  
使用スピーカー：  
直径 48 mm  
インピーダンス：  
8 Ω  
定格入力 0.05 W  
入力 ステレオミニプラグ付き入力  
コード (約 0.13 m)

### その他

付属品：イヤーピース (S, M, L 各 2)  
スピーカー付きキャリングケース (1)  
コード長アジャスター (1)

\* IEC(国際電気標準会議) 規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

<http://www.sony.co.jp/support>

#### 使い方相談窓口

フリーダイヤル ..... 0120-333-020  
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... 0466-31-2511

左記番号へ接続後、最初のガイドが流れている間に

#### 修理相談窓口

フリーダイヤル ..... 0120-222-330  
携帯電話・PHS・一部のIP電話 ..... 0466-31-2531

「309」+「#」  
を押してください。  
直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1